

JAL、メルボルンへの乗り入れを開始！

～ カンタス航空とのコードシェア提携を通じて、ネットワークがますます充実！～

2002年6月25日

第 0 2 0 1 6 号

JALは、カンタス航空（本社：シドニー、社長：ジェフ・ディクソン、以下QFA）とのコードシェア（*）提携を通じて、2002年8月1日（木）より、オーストラリア・メルボルンへの乗り入れを開始することで、国土交通省の認可を受けました。

現在JALは日本＝オーストラリア間を自社機材・乗員により週間42便（21往復）、QFA機材・乗員によるコードシェア便を週間14便（7往復）、合計週間56便（28往復）を運航しております。今回のメルボルン乗り入れにより、オーストラリアへの乗り入れ都市が4都市（シドニー、ケアンズ、ブリスベン、メルボルン）に拡大し、便数も合計週間70便（35往復）となります。

今回乗り入れるメルボルンは市内の約1/4が公園で、別名「ガーデンシティ」とも呼ばれる緑の豊富な都市です。年間を通じて温暖な気候に恵まれた、シドニーに次ぐオーストラリア第2の大会で、街のシンボリック存在のビクトリアン・アーツセンターやセント・パウルズ大聖堂など観光の見所もたくさんあります。また、オーストラリア大陸最南端のウィルソン・プロモントリー国立公園へのゲートウェイでもある、大変魅力的な都市です。

JALとQFAは1986年4月の東京＝ケアンズ線、東京＝パース線でのコードシェア便運航を始めて以来、お客様の利便性向上を図る提携を積み重ねて参りました。両社は現在、東京＝ケアンズ線（QFA運航）、東京＝ブリスベン線（JAL運航）、関西－ブリスベン－シドニー－関西線（JAL運航）においてコードシェア便の運航を行っております。

JALは今後ともお客様の利便性向上に努め、人々や文化の交流にお役に立てるネットワーク構築に邁進して参ります。どうぞご期待ください。

以上

【今回の提携拡大による新規JAL=QFAコードシェア便運航スケジュール：2002年夏ダイヤ】

運航ダイヤ（時間はすべて現地時間）	便名	使用機材	運航会社	運航日
東京（成田）20:15 → メルボルン 07:30（翌日）	JL779	B767	QFA	毎日
メルボルン 07:35 → 東京（成田）19:00 （注：シドニー経由）	JL770			木、土、日
メルボルン 09:35 → 東京（成田）19:00				月、火、水、金

- ・東京-メルボルン間の運航距離は8144キロメートル、JMB獲得マイルは5090マイルとなります。
- ・JL770便ではメルボルン－シドニー間、シドニー－東京間のみのご搭乗ならびにシドニーでの途中降機は出来ません。

（*）コードシェア：ひとつの便にふたつ以上の航空会社便名（コード）が付与されている運航形態。自社便座席の一部を相手航空会社に提供して運航する共同運航と、相手会社便座席の一部の提供を受けて運航する共同運送の総称。

お客様のお問い合わせ先 JALフリーダイヤル 0120-25-5931